

医療の世界は日進月歩で、治療法や薬剤など日々進化しています。日本人の2人に1人はがんにかかると言われていた今、がんの治療法にはさまざまな選択肢があります。鳥栖市の九州国際重粒子線がん治療センター(愛称・サガハイマツ)で行う重粒子線治療について、サガハイマツで診療副部長を務める寺嶋広太郎医師と戸山真吾医師に聞きました。

通院で切らずに治療 心と体にやさしい 重粒子線がん治療

入院不要 通院で切らずに治療

—サガハイマツで行われている重粒子線治療とはどんな治療法ですか。適用可能な部位も教えてください。

寺嶋 ●重粒子線がん治療は、放射線治療の一つです。光の速さの約70%に加速した炭素イオンを、がんの病巣に狙いを絞って照射します。エックス線より強い線量をがん病巣に集中して照射する治療で、サガハイマツは九州で唯一の専門施設です。通院で体を切らずに治療でき、大きな副作用が起こりにくく、体に負担の少ないのが特徴です。

戸山 ●がんが位置的に手術で取るには難しい人や合併症などがあるため、他の治療法ではリスクが高い人などが選択されています。治療対象部位はさまざまですが、一つの部位にとどまっている固形がんであることが原則です。白血球などの血液のがんや広範囲にわたって転移しているがん、胃がんや大腸がんなど不規則に動く臓器のがんなどは対象になりません。

全体の約7割が 前立腺がん

—サガハイマツの前立腺がん、肝がん、すい臓がんの治療実績を教えてください。

戸山 ●最も多いのは前立腺がん、全体の約7割に当たる6千600人(2024年1月末現在)の治療実績があります。肝がんは2番目に多く、約9%で

862人。すい臓がんは約4%で391人の治療実績があり、年々増えている印象です。

寺嶋 ●すい臓がんは、早期発見が難しく進行した状態で見つかることが多い厳しい疾患ですが、2022年に手術が困難で、転移がないすい臓がんに対して公的医療保険が適用されたことで、抗がん剤と組み合わせるなど治療の裾野が広がりました。

喫煙、肥満が大きな リスクに

—前立腺がん、肝がん、すい臓がんの原因は何でしょうか。予防法はありますか。

戸山 ●前立腺がんの明確な原因ははっきりしていませんが、食生活が欧米化したことや高齢化などが要因と考えられます。血液検査のPSA測定で早期の状態が発見されることが多く、前立腺がんは50歳を超えたら気をつけてほしい病気です。

寺嶋 ●すい臓がんのリスク因子は、喫煙、糖尿病、肥満などがあげられます。慢性すい臓炎やのう胞性腫瘍もリスクです。また、親やきょうだいなど家族に2人以上すい臓がんの患者がいる人も要注意です。特に家族性のリスクがある人は、専門医にご相談され、定期的なMRIや超音波検査などを受けていただくことをお勧めします。

肝臓がんは、C型肝炎などウイルス感染やアルコール摂取などから肝硬変となり、がんになることが多いです。最近では糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病が影

響している症例も増えています。いずれにしても喫煙や肥満は多くの疾患でリスクとなります。喫煙を控え、適度な運動やバランスのよい食事などを取ることでコントロールすることをお勧めいたします。

公的保険適用部位 拡大で重粒子線治療 を選択肢の一つに

—前立腺がん、肝がん、すい臓がんの治療を重粒子線治療で行った場合、治療費はいくらぐらいになりますか。

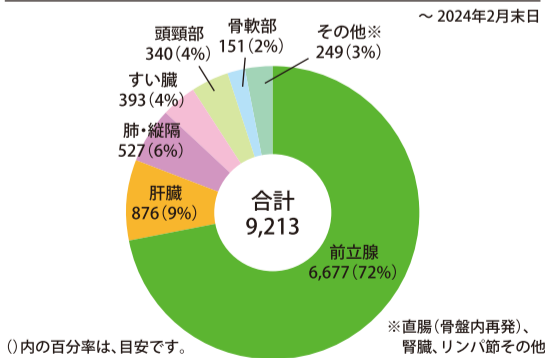
戸山 ●重粒子線治療は、自己負担額314万円の先進医療から始まりましたが、2016年4月から骨軟部腫瘍が公的医療保険の適用となり、18年から前立腺がんと頭頸部腫瘍、22年から肝細胞がん(長径4センチ以上)、すい臓がんなどの5部位が適用され、現在8部位が適用となっています。これにより、前立腺がんの自己負担は一般的な3割負担の場合、約48万円、その他の疾患は約72万円です。自己負担分に、高額療養費制度を利用すれば、標

準的な所得の家庭ではおおよそ10万円程度となります。

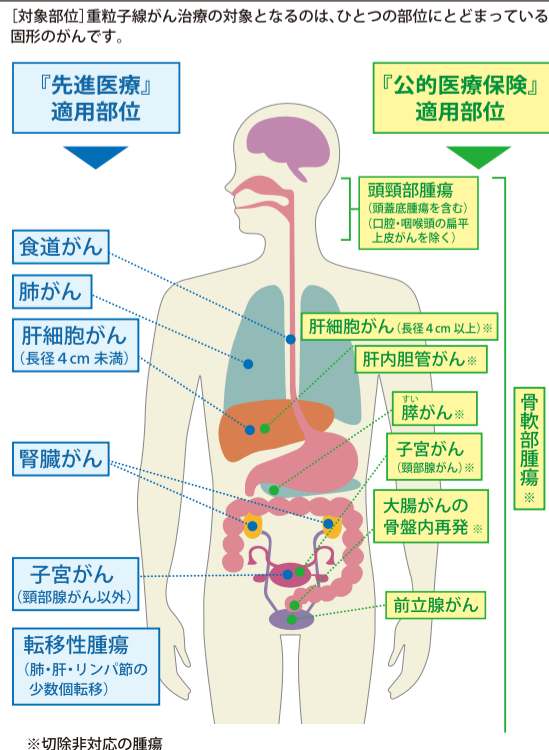
寺嶋 ●診療報酬改定は2年に1度行われますので、今後適用部位が拡大される可能性もあります。患者さんにとって重粒子線治療は、治療の選択肢の一つとして身近になってきたと感じます。

重粒子線治療は、照射して終わりではなく、治療後の経過観察も重要です。地域のかかりつけの医師との連携を密にしながらいずれも安全な医療の提供に努めたいと思います。

◆サガハイマツにおける部位別治療患者数



◆重粒子線がん治療の対象となるがん



九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)

所在地 〒841-0071 佐賀県鳥栖市原古賀町3049番地

ホームページ <http://www.saga-himat.jp/>



サガハイマツの受診に関する相談窓口

電話 0942-50-8812 (受付時間:平日の9～17時)

メール saga-himat@saga-himat.jp